



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマザワ

コード番号 9993 URL http://yamazawa.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 佐藤 慎三 TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年10月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	56,612	10.0	715	3.5	727	3.9	△46	—
26年2月期第2四半期	51,476	—	691	—	700	—	76	—

(注) 1. 包括利益 27年2月期第2四半期 0百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 70百万円 (—%)

2. 平成25年2月期より決算期を変更しております。これに伴い、平成26年2月期第2四半期と、比較対象となる平成25年2四半期の月度が異なるため、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△4.29	—
26年2月期第2四半期	7.04	7.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	53,390	27,782	52.0
26年2月期	52,170	27,958	53.6

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 27,760百万円 26年2月期 27,938百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	16.50	—	16.50	33.00
27年2月期	—	16.50	—	—	—
27年2月期 (予想)	—	—	—	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	10.1	1,300	5.9	1,300	2.8	310	32.5	28.48

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	10,960,825株	26年2月期	10,960,825株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	77,922株	26年2月期	79,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	10,882,324株	26年2月期2Q	10,881,983株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果が現れ始めたことにより、一部業種においては緩やかな景気回復基調となってきましたが、個人所得の増加はさほど見られず、更に原材料等の値上がりや消費税増税による消費の減少が見られるなど、依然として不透明な状況が続きました。

小売業界におきましても、4月からの消費税増税を受けてお客様の消費動向はより慎重になっており、また、食品主体の小売業には、商品の価格・品質・鮮度や接客サービスなどあらゆる面でより高いレベルが求められ、多様なニーズへの対応が必要とされてきております。加えて、原材料の高騰や光熱費の更なる上昇もあり、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、『役割分担』『良い結果を出す』を本年度のスローガンに掲げ、全社一丸となって各施策の実行及び検証を行なってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の新規出店といたしまして、平成26年7月に宮城県黒川郡大和町に杜のまち店（ドラッグ併設）を開店いたしました。杜のまち店におきましては、宮町店（山形県山形市）以降の取り組みである料理提案型の店づくりを行ない、更に環境への配慮から、店内・駐車場にLED照明を採用しております。吉岡店に次ぐ大和町への出店は、宮城県北部地域におけるドミナントの形成を図ることを目的としており、以上の結果、スーパーマーケット事業は、ヤマザワ店舗が山形県内42店舗、宮城県内24店舗の計66店舗、よねや店舗が秋田県内9店舗の、合計75店舗となりました。

営業施策といたしまして、販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては、引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行なってまいりました。「水曜均一祭」は、毎週恒例の企画となっており、食料品を中心にお買い得商品を多数そろえ、好評を得ております。

また、当社が加盟するニチリウグループ（日本流通産業株式会社）のプライベートブランド商品である「くらしモア」や、連結子会社の株式会社サンコー食品による当社オリジナルの惣菜・日配商品の拡販を積極的に行なってまいりました。

商品面におきましては、「地産地消」の更なる推進のため、地元生産者グループとの意見交換会を定期的で開催するとともに、安全・安心な地元農産物を安定的に仕入、販売できるよう取り組んでまいりました。なお、この度、以前より取引のある山形市土坂地区の青果物生産者グループが農業法人を設立し、地元農産物の生産拡大やブランド化を推進することとなり、青果部門におきましては、地元農産物のより一層の販売強化へつなげる取り組みとしてこれまで以上に連携を図っております。

地域貢献活動といたしましては、各取引先の協力のもと、地域の子どもたちとの果物や野菜の収穫体験などを継続的に開催し、食育活動を行なってまいりました。

以上の取り組み並びに前連結会計年度末より連結子会社となったよねや商事株式会社の業績貢献などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は566億12百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は7億15百万円（同3.5%増）、経常利益は7億27百万円（同3.9%増）となりました。四半期純利益におきましては、減損損失の計上等により△46百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は533億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億19百万円の増加となりました。

資産の部においては、商品及び製品等のたな卸資産の減少となりましたが、現金及び預金は増加となりました。

負債の部においては、当第2四半期連結会計期間末日が銀行休業日だったため支払が翌月になったこと等による買掛金の増加や、短期借入金の減少等となりました。

なお、純資産は277億82百万円となり、自己資本比率は52.0%となっております。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は63億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億50百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは51億46百万円の収入となりました。これは主に、たな卸資産の減少、そして、当第2四半期末日が銀行休業日だったこと等による仕入債務の増加、流動負債の増加等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは15億86百万円の支出となりました。これは主に、新店出店に係る店舗の工事代金及び今後の新店出店のための土地の取得等に伴う有形固定資産の取得による支出、その他無形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは17億9百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金の返済、配当金の支払及びファイナンス・リース債務の返済による支出等によるものです。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月15日に公表いたしました業績予想につきましては、修正を行なっております。具体的内容につきましては、平成26年10月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

#### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,744,870	6,595,101
受取手形及び売掛金	642,210	675,475
商品及び製品	4,683,814	4,267,519
仕掛品	1,557	758
原材料及び貯蔵品	105,713	98,825
その他	1,644,418	1,592,875
流動資産合計	11,822,584	13,230,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,829,598	14,841,155
土地	17,100,005	17,129,544
その他(純額)	2,512,172	2,296,782
有形固定資産合計	34,441,777	34,267,482
無形固定資産	2,196,050	2,191,755
投資その他の資産	3,710,196	3,700,337
固定資産合計	40,348,024	40,159,575
資産合計	52,170,609	53,390,132
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,874,082	9,365,688
短期借入金	6,526,000	5,450,000
1年内返済予定の長期借入金	313,958	297,536
未払法人税等	378,002	306,252
賞与引当金	340,947	343,350
役員賞与引当金	24,230	10,704
ポイント引当金	532,399	569,535
商品券回収損失引当金	70,528	55,263
その他	4,390,075	4,714,055
流動負債合計	19,450,223	21,112,386
固定負債		
長期借入金	1,054,485	916,036
退職給付引当金	729,609	729,045
資産除去債務	934,079	943,990
その他	2,044,127	1,905,824
固定負債合計	4,762,301	4,494,896
負債合計	24,212,524	25,607,283

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,275
利益剰余金	23,434,822	23,208,641
自己株式	△90,222	△88,872
株主資本合計	27,938,509	27,713,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△237	47,053
その他の包括利益累計額合計	△237	47,053
新株予約権	19,812	22,032
純資産合計	27,958,084	27,782,848
負債純資産合計	52,170,609	53,390,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	51,476,937	56,612,527
売上原価	37,480,638	41,096,738
売上総利益	13,996,298	15,515,788
販売費及び一般管理費		
給料	4,813,908	5,248,472
賞与引当金繰入額	318,175	334,898
役員賞与引当金繰入額	14,540	10,704
退職給付費用	55,077	54,602
ポイント引当金繰入額	525,994	569,535
減価償却費	1,021,533	1,113,612
その他	6,555,666	7,468,454
販売費及び一般管理費合計	13,304,893	14,800,280
営業利益	691,405	715,508
営業外収益		
受取利息	2,889	2,751
受取配当金	7,896	7,916
還付加算金	7,418	—
その他	14,545	25,955
営業外収益合計	32,750	36,623
営業外費用		
支払利息	11,862	18,631
その他	11,869	5,804
営業外費用合計	23,731	24,436
経常利益	700,423	727,695
特別利益		
固定資産売却益	1,463	—
保険料返還収入	15,418	—
寄付金収入	—	30,000
特別利益合計	16,881	30,000
特別損失		
固定資産売却損	68,938	323
固定資産除却損	43,309	273
減損損失	249,797	503,824
賃貸借契約解約損	26,400	—
特別損失合計	388,445	504,421
税金等調整前四半期純利益	328,859	253,274
法人税、住民税及び事業税	334,881	275,922
法人税等調整額	△82,642	23,983
法人税等合計	252,238	299,906
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	76,621	△46,632
四半期純利益又は四半期純損失(△)	76,621	△46,632

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	76,621	△46,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,654	47,291
その他の包括利益合計	△5,654	47,291
四半期包括利益	70,966	659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,966	659
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	328,859	253,274
減価償却費	1,077,407	1,166,592
減損損失	249,797	503,824
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,403
受取利息及び受取配当金	△10,786	△10,667
支払利息	11,862	18,631
たな卸資産の増減額(△は増加)	△366,347	423,980
仕入債務の増減額(△は減少)	2,906,484	2,491,606
その他	341,050	653,058
小計	4,538,329	5,502,703
利息及び配当金の受取額	8,478	10,492
利息の支払額	△13,075	△18,585
法人税等の支払額	△37,074	△347,672
法人税等の還付額	264,063	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,760,720	5,146,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,928,056	△1,459,824
敷金及び保証金の差入による支出	△34,540	△4,238
敷金及び保証金の回収による収入	50,604	28,119
その他	102,028	△151,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,809,962	△1,586,949
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,400,000	△1,076,000
配当金の支払額	△179,553	△179,549
その他	△312,201	△454,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,891,755	△1,709,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,059,001	1,850,230
現金及び現金同等物の期首残高	3,725,771	4,464,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,784,773	6,314,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。